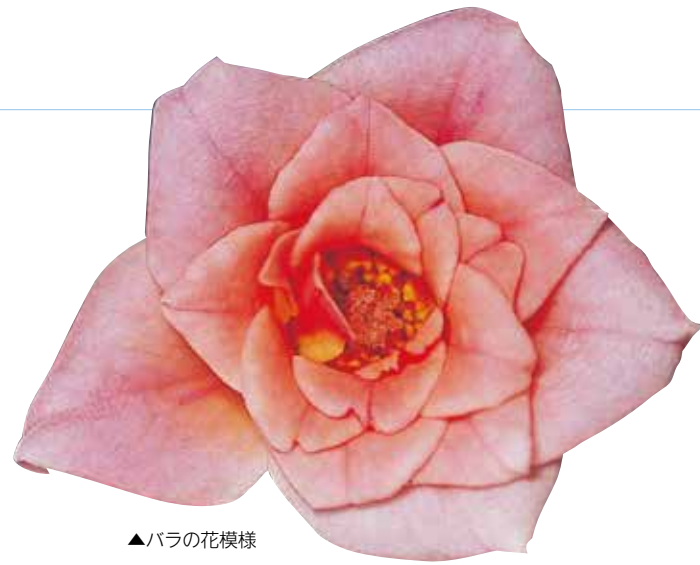


# ロゼットとは

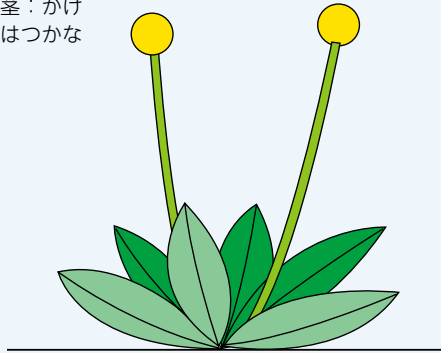
## ●ロゼットはバラ模様

オオバコやタンポポのような形をロゼットという。もともとロゼットとはバラ（ローズ）模様からきた言葉だが、それが草の形を表すのに使われている。気をつけてみると、身のまわりにロゼットの形をしている雑草はたくさんある。

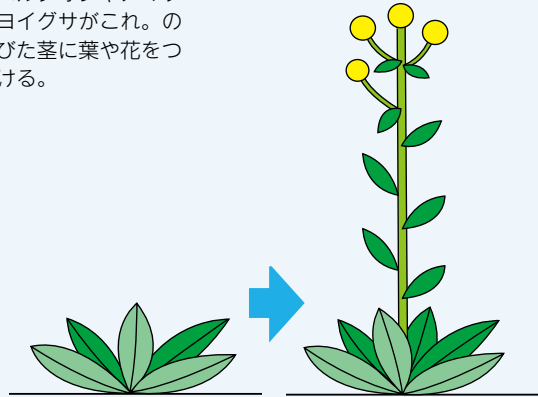


▲バラの花模様

一生ロゼットだけで過ごす草：  
オオバコやタンポポがこれ。花のときのびる茎（花茎：かけい）には葉はつかない。



ロゼットで過ごしてから茎をのびす草：  
ハルジオンやメマツヨイグサがこれ。のびた茎に葉や花をつける。



▶秋に空き地に群生するヒメムカシヨモギのロゼット。生えて間もないようす。(p133)



▲ロゼットを掘ってみると…

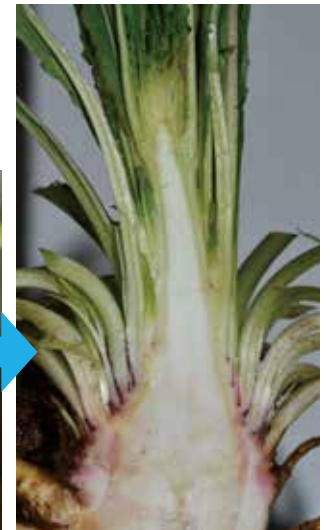
## ●たいせつな芽を守るロゼット

ロゼットにある葉を根生葉（こんせいよう）というが、根の上端にごく短い茎があり葉はそこから出ている。根から葉が直接出るわけではない。根生葉の出方にも一定のきまりがあり、重なり合わないようになっている。ロゼットの中心には小さい葉に包まれた芽がある。芽は寒さや乾燥から、あるいは踏みつけなどから守られている。芽が痛むと草は成長できない。(このページの写真はメマツヨイグサ。p112)

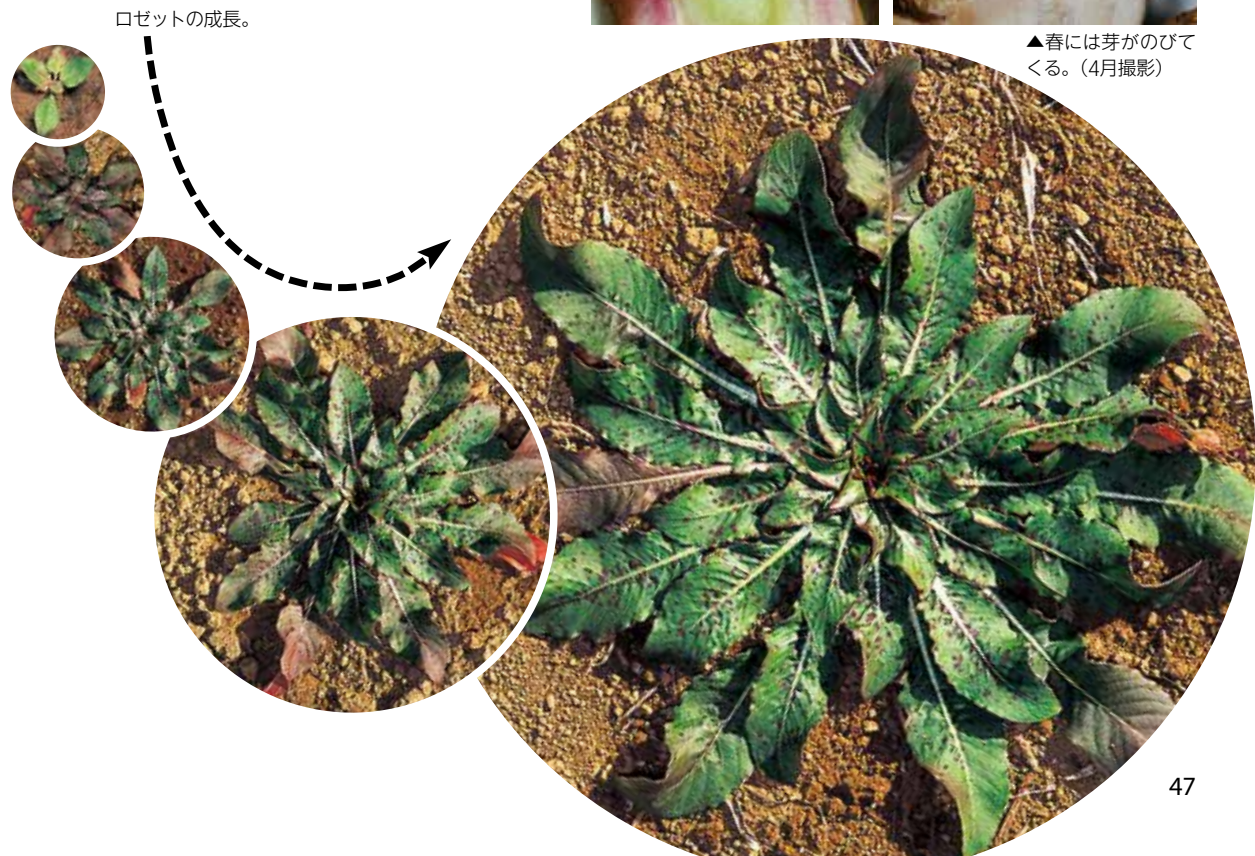


▶中心部に芽があり、冬の寒さから守られている。(1月撮影)

芽



▲春には芽がのびてくる。(4月撮影)



ロゼットの成長。